
The last wish

黒蝶姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

IJのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

The last wish

【Zマーク】

Z8919L

【作者名】

黒蝶姫

【あらすじ】

学校でイジメを受けている
(貴方の名前を並べてね)

この事は、誰にも言つてない。

親との関係もぐちゃぐちゃで、悲しみに溺れる毎日。

そんな貴方に、恋をしました。

1・始まり

嗚呼、辛い。

この一言で全ての哀しみが消え去るなら、どんなに良いことだろう。
どんなに幸せだろう。

この辛い現状から、いつ開放されるのだろう。

赤い夕焼けが沈みそうな頃だ。

教室の真ん中で、ただ私は泣いていた。

その姿は、あまりにも残酷だった。

身体からは、赤い血が流れ、白いシャツに滲み出ている。
制服は破かれ、靴は無残にゴミ箱に捨てられていた。

事の始まりは、1ヶ月前だ。

自分が転校してきたとき、すでにこのクラスは荒れていた。
リーダーである、白崎 恵里華を中心とした、グループがあつた。

白崎は、自分の父親が政治家で、お金持つ
いわゆる、「お嬢様」だ。

そんな「お嬢様」には、誰も逆らえるはずも無い。
逆らえば、父親に言いつけるからだ。

逆らったものはどうなるか。

すでに10人者「犠牲者」が出ていた。
なら、逆らわなければ良いだろう。

そう考える人も、少なくは無かったが、白崎は、ターゲットを決めて、
その者を徹底的に痛めつける。

そんな奴だ。

だから、白崎にターゲットにされぬよう、「白崎 恵里華を中心としたグループ」があるので。

そして、ある日。 全ては始まった。

「いやあっ！ もうやめてつえええええっ！」

「誰に口を聞いてるの？ 次、ハサミ」

泣き叫ぶクラスメート。

そんなクラスメートを囲むようにして、恵里華は片足でクラスメートを押さえつけ、命令を下す。

「もう・・・・、やめてっ！」

そんな場面を見ていれなくなつた、自分。

「もう、やめてよっ！ なんでクラスメートをいじめる行為をするのっ！」

意味がわからんないよっ！」

「・・・」

「ちゃん・・・」

恵里華は、黙つて自分を睨んでいた。

クラスメートは、泣きながらもあたしに笑顔を向けていた。
囮むクラスメートは、ざわつき始めた。

「・・・ ッ。 次は貴方が・・・ターゲットでいいのね」

恵里華は静かにそう言つた。

とたんに、囮まれているクラスメートのされていた事を思い出す。

だが、 は

「いいよ。その代わり、その子は開放してよ」

「ええ ジやあ、明日から貴方がターゲットね。死ぬまで一生・
・ね。」

「 ッ・・・!」

心配そうに見つめるクラスメートの目は赤く、腫れていた。

「大丈夫。」

そう力強く言うと、その子はまた、泣き始めた。

これが、全ての始まり。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8919/>

The last wish

2010年10月14日12時06分発行